

年頭挨拶

# 地方創生の再起動を



会 頭  
上野 雅史

会員の皆様、明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、残念ながら新型コロナウイルスから依然として脱却できず、またしても翻弄された一年でありました。現在は第八波ということであり、感染対策をしっかりと図りながら、日常生活や経済活動を着実に取り戻す段階に移行していると感じております。

「今年こそは、コロナ禍を脱して未来が拓けるように」と念じるとともに、コロナとの共存という意味で「今年こそは、コロナがあっても、それを能動的に乗り越える強い気構えで進んで行く」。そんな年にしなければ、思いを強くしているところであり、思っていることを改めて実感しました。

こうしたコロナ禍に加えまして、事業経営を取り巻く環境は、次から次へと新たな困難な波に見舞われております。ロシア・ウクライナ情勢は未だ

終息が見通せず、それに端を発した原油・原材料等の急激な高騰や供給懸念、円相場の極端な不安定化、世界規模のインフレなど、大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いており、様々なリスクに柔軟に対応できる備えが必要になっております。併せて、コロナ後の需要拡大も見通した人材不足がここに来て急激に深刻化してきており、業績回復の足かせとなっているという声も高まっております。

そうした困難が続く状況においても、昨年は、先だって開催されましたFIFAワールドカップ2022で日本代表がドイツ、スペインを破るなど大活躍され、国民に大きな勇気と元気を与えてくれました。また、当地域では、酒井家内入部400年の節目の年を記念しての様々な行事が催され、地域の歴史への誇りを再確認し、明るい未来に向け歩みをつなげることができた一年でもありました。

経済の動向につきましては、政府の

十二月の月例経済報告において、「景気は緩やかに持ち直している」とされ、先行きについてもウイズコロナの下で、持ち直しが期待されるとして、緩やかな回復基調の判断にあります。しかしながら、当会議所の直近の調査を見ますと、課題として「資材、原材料価格の上昇」が各業種で多く上げられており、今後の利益への圧迫や資金繰りへの不安などが言われているところで、先行きへの不透明感を払しょくできない状況にあります。

加えて、今後本格化するコロナ融資の返済が課題となっており、コロナ禍からの回復がさらに遅れることになれば、資金不足の顕在化が懸念されます。このほか、円安の進行やインフレ懸念の台頭などの複合的な影響により、地域経済を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

今後につきましては、当面足元の物価高、コスト増克服に向けた対策とともに、中小企業の自己変革や人材育成など潜在的な成長力を底上げする対策、コロナマインドや将来不安の払しょくによる消費・需要の喚起に向けた対策などが求められます。国・県・市におかれましては、地域の中小企業におけるこうした課題の解決と新たな挑戦を下支えする実効性のある政策支援を引き続きお願い申し上げます。鶴岡商工会議所としても、今こそ会員事業者の皆様に一層寄り添い、事業継続

と新たな事業変革への後押しを進める所存であります。

そして、今後の地域経済の再生に向けては、ポストコロナや世界経済の急激な変化などを前提とした、戦略的な地域経済振興の新しいビジョンが求められていると思っております。とりわけ当鶴岡市には地域経済を牽引するインパクトのあるプロジェクトの不足が課題と感じております。コロナ明けの次の成長を先導し、地方創生を再起動させるプロジェクトを今こそ官民挙げて創出すべき時と存じます。そうした視点に立って、我々商工会議所も、経営の現場から議論を重ね、知恵を出し合っ、具体的な提案と行動を続ける必要があると思っております。

今あるコロナ禍の困難な時代については、後の世に語り継がれるものになると思います。それだけに今逆境にある我々がそれをどう乗り越えたかという歴史が、これから先、子や孫が生きる社会の在るべき道標になってくれることを願い、地域でさらに力を合わせ頑張っていくべき時と存じます。

鶴岡商工会議所自身も、今後のウィズコロナなど新たな経済環境の中で課題に果敢に挑戦し、会員事業所及び市民の皆様により頼りになる商工会議所を目指してまいります。これまで以上のご指導・ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

## 常議員会報告

### 報告事項

- (1) 10月11日各種会議報告
- (2) 鶴岡市建設優秀表彰式開催報告
- (3) 工業部会視察研修開催報告
- (4) 小売商業部会視察研修開催報告
- (5) 観光部会視察研修開催報告
- (6) 鶴岡市への要望書提出報告
- (7) 小規模事業者経営改善資金審査会の委員について
- (8) 地域うまいもんマルシェ報告
- (9) つるおか大産業まつり報告
- (10) ビジネスマッチ東北2022報告

### 協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 顧問の委嘱について
- (3) 中期行動計画の推進に係る委員会の委員について

### その他

- (1) 12月定例常議員会について
- (2) 令和5年新年祝賀会について

### 報告事項

- (1) 11月12日各種会議報告
- (2) 工業部会施設見学会開催報告
- (3) 「公共事業の確保に資する研修会」実施報告
- (4) 建築DX研究会セミナー開催報告
- (5) 地元選出県議会議員との意見交換会開催報告
- (6) 「第61回会員企業従業者表彰式並びに第19回創業・創立記念会員事業所顕彰式」開催報告

### 協議事項

- (1) 新会員の承認について

### その他

# 謹んで新年の挨拶を申し上げます

女性会



女性会 会長

小野寺 美千子

小野寺建設(株)

皆様におかれましては、お健やかで、輝かしい新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。日頃より商工会議所女性会に対しましては、皆様方よりご指導・ご協力を頂きまして、誠に有難うございます。

さて、地方における商工業の現状は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響も加わって厳しい状況が継続しており、われわれ商工会議所女性会の担う役割も大変重要なものと実感するところです。

鶴岡商工会議所女性会では本年も女性ならではの感性や潜在力などを発揮し、地域との連携・交流を図りながら貢献して参りたいと存じます。また、活動を活性化するために会員増強にも力を入れて参ります。本年が皆様にとりまして、希望に満ちた実り多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

青年部



青年部 会長

尾川 勝洋

(有)尾川園

あけましておめでとうございます。謹んで新年の挨拶申し上げます。

我々鶴岡YEGは、2022年に「つるおか麵フェス」というイベントをゼロから創り、地域の皆様と共に開催することができました。YEGの事業を通して、我々が青年経済団体として地域の皆様へ期待され、そして支えられながら活動できていることを改めて実感しました。

鶴岡YEGでは、令和7年度に行われる「日本商工会議所青年部東北ブロック大会」の誘致を行っており、今年度はそれに向けた準備に本格的に取り組んでいきます。本年は、卯年であることから飛躍、向上と言った意味があるそうです。将来に予定されている大きな事業に向けて、うさぎのように跳躍し、飛躍に満ちた年にしたいと考えております。

地域の皆様とYEGメンバー一丸となり、2023年もYEG活動を通して明るく希望に満ちた地域になるように貢献してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

### 女性会活動報告

11月28日(月)

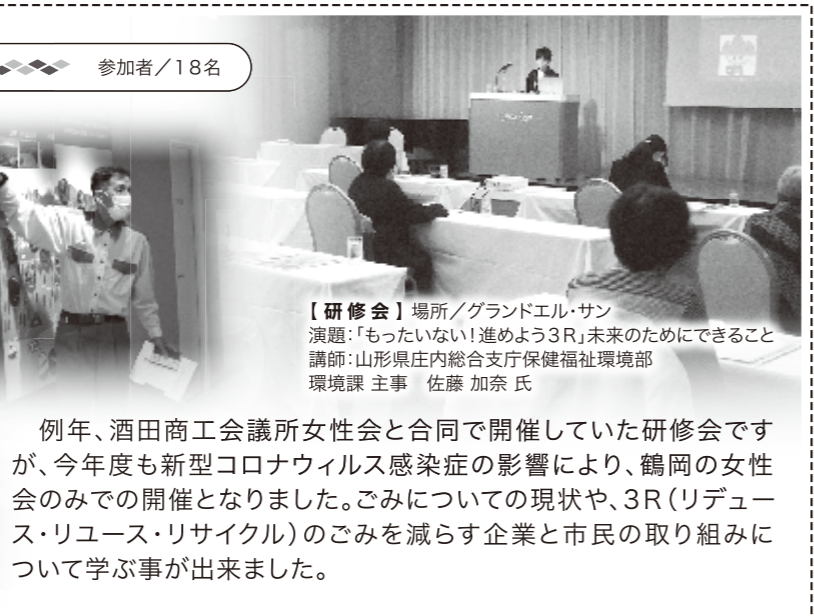
参加者/18名

## 「若手後継者等育成事業」

### 鶴岡商工会議所 女性会研修会



【施設見学】  
場所/つるおかエコ・アース



【研修会】場所/グランドエル・サン  
演題:「もったいない!進めよう3R」未来のためにできること  
講師:山形県庄内総合支庁保健福祉環境部  
環境課 主事 佐藤 加奈 氏

例年、酒田商工会議所女性会と合同で開催していた研修会ですが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、鶴岡の女性会のみでの開催となりました。ごみについての現状や、3R(リデュース・リユース・リサイクル)のごみを減らす企業と市民の取り組みについて学ぶ事が出来ました。

11月

12月